

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進					重要度	B		
番号・取組事業名	51001	コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付			作成日	H30.4.1		更新日	H31.3.31
担当部署	051000	市民生活部 市民課			責任者	鈴木 茂美		担当者	伊藤 朝子
取組年度	H28	～	H31						
効果	その他改善								
最終目標	個人番号カードの普及に伴い、コンビニエンスストア等での証明書等の自動交付事業の推進は市民サービスの向上につながり、将来的には本庁と駅前行政サービスセンターに設置してある自動交付機の廃止を検討する。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	平成28年11月から証明書のコンビニ交付を開始した。							
平成29年度	計画どおり	コンビニ交付の円滑な運用及び利用率向上のための市民への啓発を図った。							
平成30年度	計画どおり	コンビニ交付の円滑な運用及び利用率向上のための市民への啓発を図る。							
平成31年度	完了	コンビニ交付の円滑な運用及び利用率向上のため市民への啓発を図る。自動交付機の廃止を予定。							
平成32年度									
成果指標	指標名	証明書交付全体に対する、コンビニエンスストア等における自動交付利用率					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		5	10				10	
	変更計画値					2	3	4	4
	実績値		1	1	2.8				0
効果額	歳入増加	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	歳出削減	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)			窓口の混雑緩和と待ち時間の短縮が図られる。休日夜間の証明書交付が可能となる。	窓口の混雑緩和と待ち時間の短縮が図られる。休日夜間の証明書交付が可能となる。	窓口の混雑緩和と待ち時間の短縮が図られる。休日夜間の証明書交付が可能となる。			

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	51001	コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31	
担当部署	051000	市民生活部 市民課	責任者	鈴木 茂美	担当者	伊藤 朝子	
	区分	取組内容・目標					
平成30年度	計画どおり	コンビニ交付の円滑な運用及び利用率向上のための市民への啓発を図る。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	個人番号カード取得者への利用案内			○	○	○	○
2	窓口での証明書発行者への利用案内			○	○	○	○
3	郵送請求での証明書発行者への利用案内			○	○	○	○
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	進んでいる	コメント	平成30年7月時点で証明書交付全体に対するコンビニエンスストア等における自動交付利用率は2%を超えている。ただし、引き続きマイナンバーカードの取得促進やコンビニ交付の周知は行っていく必要がある。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	証明書交付全体に対する、コンビニエンスストア等における自動交付利用率		計画値	単位 2	%	実績値 2.8
	達成状況【成果】	達成	コメント	・ポスターやホームページを活用し、コンビニ交付の周知を行った。 ・企業訪問や、交付受付の柔軟化、申請補助により、マイナンバーカードの普及を促進した。			
	進捗状況【活動】	進んでいる					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	中山 浩二	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	マイナンバーカードの交付率の上昇が、コンビニエンスストア等における自動交付利用率上昇の前提であることから、マイナンバーカードの普及、その利活用を強力に促進するとの方針を示している国の動向を注視しながら、今後とも継続していく。			
	方向性	継続実施					

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	51002	白バラ便りの見直し	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	230000	選挙管理委員会事務局	責任者	有賀 浩一	担当者	庶務担当			
取組年度	H28	～	H32						
効果	歳出削減		その他改善						
最終目標	<p>選挙情報紙「白ばらかしわ」は、選挙時における啓発活動の重要な手段の一つとして、市民ボランティア団体である柏市明るい選挙推進協議会との協働編集により作成し、年1回発行してきた（新聞折り込みによる全戸配付。主要市施設への配備による補完措置あり。）。</p> <p>平成29年度より、経費削減の観点から、新聞折り込みの方法による発行形態を廃止、市ホームページへの掲載を主軸としながら、市内の主要な施設（市施設、駅頭、市内業者）への備え置き方法に移行。なお、情報の周知度を向上させるには、様々な媒体によることが効果的であるので、「広報かしわ」による選挙情報をより充実させ、SNS等の積極的活用など、多角的な啓発活動を展開していく。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	7月（参議選を特集）に市ホームページへ掲載・近隣センターへ配付を行った。3月（知事選を特集）の発行した印刷部数136,000部 新聞折り込み134,553部							
平成29年度	計画どおり	柏市内高校三年生向けに発行 印刷部数10,000部							
平成30年度	進んでいる	3月（県議選を特集）に発行 印刷部数10,000部（柏市内全高校に配布）、市ホームページへの掲載、広報かしわの掲載、SNSの活用							
平成31年度	実施	7月（市議選を特集）に発行 印刷部数10,000部、（柏市内全高校に配布）、市ホームページへの掲載、広報かしわの掲載、SNSの活用、動画の配信							
平成32年度	完了	3月（知事選を特集）に発行 印刷部数10,000部、（柏市内全高校に配布）、市ホームページへの掲載、広報かしわの掲載、SNSの活用、動画の配信							
成果指標	指標名	印刷部数					単位	部	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	138,000	138,000	118,000	100,000	85,000	73,000	73,000	
	変更計画値			1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
実績値	136,000		10,000	101,500			0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額	1,245	0	549	537	523	501	2,110
		変更計画額			1,137	1,105	1,105	1,105	4,452
		実績額		183	1,106	439			1,728
	計	当初計画額	1,245	0	549	537	523	501	2,110
		変更計画額		0	1,137	1,105	1,105	1,105	4,452
		実績額		183	1,106	439	0	0	1,728
見込まれる その他効果 (金額以外)			「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施		

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	51002	白バラ便りの見直し	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31		
担当部署	230000	選挙管理委員会事務局	責任者	有賀 浩一	担当者	庶務担当		
	区分	取組内容・目標						
平成30年度	進んでいる	3月(県議選を特集)に発行 印刷部数10,000部(柏市内全高校に配布), 市ホームページへの掲載, 広報かしわの掲載, SNSの活用						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	3月(県議選を特集)に発行 印刷部数10,000部, (各所配備(市施設, 駅頭, 市内事業所など))						○	
2	市ホームページへの掲載, SNSの活用						○	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	その他	コメント	千葉県議会議員一般選挙の予定は平成31年4月であるため, 上半期の計画は特になし。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	印刷部数	計画値	単位	部	実績値	単位	部
				10,000			101,500	
	達成状況【成果】	その他	コメント	印刷部数の抑制により予算の縮減を検討したが, ①平成31年度は千葉県議会議員一般選挙・参議院議員通常選挙・柏市議会議員一般選挙の3選挙があることや②県議選の投票率が低いことなどを考慮すると, より充実した啓発が必要であると考えられた。そのため, 計画を一部変更し, 平成28年度と同じように, 選挙の周知を重視し, 新聞折り込みを実施したため, 結果的に増刷することとなった。				
	進捗状況【活動】	進んでいる						
計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	市議選も, 他の選挙と同じように, 投票率が漸減傾向にあることなどから, 二大紙の新聞折り込みを計画しているため。今後は, 選挙前の発行時は新聞折り込みで, 選挙の無い時の発行時は施設への配架や学校への配布などで展開したい。				
	計画値	有						
評価	評価者	有賀 浩一	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	柏市明るい選挙推進協議会と柏市選挙管理委員会で「白ばらかしわ」を作成しているが, 啓発の一環として有効であると思われる。費用対効果を念頭に置きながら, 通常時と選挙時を分けて, 有権者に広く周知する方法を展開していきたい。				
	方向性	継続実施						

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進					重要度	B		
番号・取組事業名	51003	郷土資料のデジタル化			作成日	H30.4.1		更新日	H31.3.31
担当部署	284000	生涯学習部 図書館			責任者	小池 久美子		担当者	千田 雅之
取組年度	H28	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	地域の課題解決に役立つ資料として郷土資料を収集し、市民が情報検索しやすくするために、デジタル化を行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	進んでいる	郷土資料を45点デジタル化した							
平成29年度	計画どおり	パンフレット類のデジタル化と公開							
平成30年度	計画どおり	郷土資料のデジタル化							
平成31年度	実施	郷土資料のデジタル化							
平成32年度	完了	郷土資料のデジタル化							
成果指標	指標名	郷土資料のデジタル化					単位	冊	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		2	4	6	8	10	10	
	実績値	0	45	47	49	51	53	0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)			前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。		

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	51003	郷土資料のデジタル化	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	284000	生涯学習部 図書館	責任者	小池 久美子	担当者	千田 雅之			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	郷土資料のデジタル化							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	郷土資料のデジタル化作業			○	○	○	○		
2	公開準備			○	○	○	○		
3	公開					○			
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り進行している。 ・当該資料公開ページへのアクセス件数カウンターの設置について、次期図書館システムでの実現に向けて検討する。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	郷土資料のデジタル化		計画値	単位	冊	実績値	単位	冊
					49			49	
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り進行している。 ・当該資料公開ページへのアクセス件数カウンターの設置について、次期図書館システムでの実現に向けて引き続き検討する。 ・ホームページ上での公開にあたっての技術的な課題として、従来のPDFやPNGではデータ容量が大きく、利用しづらいことがあるので、より使いやすい方法でのデジタル化を検討する。 					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	小貫 省三	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	図書館システムの切り替え時期にあわせて、公開方法や作成方法を検討していただきたい。					
	方向性	継続実施							

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	51004	保健所情報システム更新事業		作成日	H30.4.1		更新日	H31.3.31	
担当部署	170100	保健所総務企画課		責任者	能崎 勉		担当者	後藤, 小山	
取組年度	H30	～	H31						
効果	その他改善								
最終目標	各種保健所業務の事務効率化のため「柏市保健所情報システム」を利用しているが、さらなる事務処理の向上とコストの抑制を図ることを目的に、保健所情報システムの更新を行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度		システム化の範囲検討, 選定方法・プロポーザル準備, 実施							
平成29年度									
平成30年度	実施	各ベンダーと開発業務委託契約締結, 要件定義等の調整, 端末等機器の賃貸借契約・保守契約締結							
平成31年度	完了	保健所情報システム運用開始							
平成32年度									
成果指標	指標名	システムで管理する業務数					単位	個	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	10			10	12		12	
	変更計画値							0	
実績値				10			0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)		業務効率化, 個人情報等の 適正管理							

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	51004	保健所情報システム更新事業	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	170100	保健所総務企画課	責任者	能崎 勉	担当者	後藤, 小山			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	各ベンダーと開発業務委託契約締結, 要件定義等の調整, 端末等機器の賃貸借契約・保守契約締結							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	開発業務委託契約締結・要件定義			○					
2	要件定義				○				
3	基本設計・詳細設計, データ移行テスト				○	○			
4	操作研修, 運用テスト, データ移行本番						○		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>昨年度において, 対人と対物に分けてプロポーザル募集を実施し, 開発業務委託契約締結, 要件定義, 基本設計完了まで進んでいる。</p> <p>なお, プロポーザル募集により, 現行ベンダーの提案額と比較して, 約1億9千万円(5年間)の減となっており, コストの抑制にもなった。</p>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	システムで管理する業務数		計画値	単位	個	実績値	単位	個
					10			10	
	達成状況【成果】	達成		コメント	<p>予定どおり, データ移行テスト, 職員向け操作研修, 受入テスト, データ移行本番も完了し, 翌年度からの運用開始に向け準備完了した。</p>				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	山崎彰美		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	<p>予定どおり, コストを抑制した上で保健所情報システムの更新を完了している。</p> <p>引き続き, システムを活用した業務効率化や個人情報の適正管理に努めること。</p>				
	方向性	継続実施							